

【2017 桜蔭学園中学校 算数 講評】

毎年男子校に負けなくらい東大理3の現役合格者を輩出する、桜蔭学園中学。

例年1問は空間認識力を問う問題を中心とした、難度の高い名作問題が出てくるのですが、今年は大問2、3、4、5が全て空間図形の問題でした。

今年を象徴するのが大問5で、純粹に断面図を描けるかどうかのみ（ほぼ）を問うている、シンプルながら素晴らしい問題でした。

大問4は、立体図形の問題に見せかけて、実際は整数問題なのですが、複雑な円錐や円柱の表面積を計算するときに3.14の絡む計算を全て纏めることができないと、整数問題に変換することが出来ず、解くことが難しかったです。